

とぎつちよう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ていがくねん む あきごう
低学年向け 2024年 秋号



「はらぺこおなべ」

神沢 利子/作 渡辺 洋二/絵 (あかね書房)

だいどころにいる、かたてなべのばあさん。
ある日、おなべのばあさんは、急にはたらくの
がいやになりました。「これからは、おいしいもの
をおなかいっぱいいたべて、くらすのさ」。
家をでて、つぎからつぎに、いろいろなものを
たべていきます。ソーセージにキャベツに
わとりに…とうとう、あんなに大きなものまで！
ちょっといじわるで、おしゃべりがとても楽しい、
おなべのおはなし。

うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。
難しいルールは要りません。
家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「王さまのアイスクリーム」

フランセス・ステリット/ぶん 光吉 夏弥/やく
土方 重巳/え (大日本図書)

バニラにストロベリー、チョコレート味。みんなが大好きなアイスクリーム。昔はだれも、見たことも食べたこともなかったんです。それがどうして、私たちが食べることができるようになったのでしょうか？それはね…。
きむずかしい王さまのために生まれたアイスクリーム。その誕生のヒミツを教えます！



「きのこレストラン」

新開 孝/写真・文 (ポプラ社)

つちのなかからニョキニョキとでてきたタマゴダケ。赤いかさをひろげて、みるみる大きくなってきた。すると、いろいろなむしたちがやってきて、タマゴダケを食べはじめます。

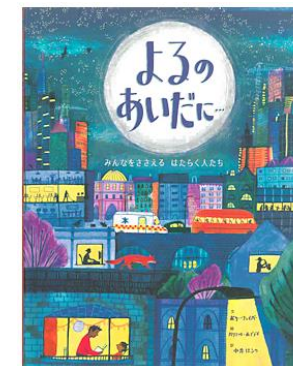
もりのなかには、ほかにもいろんなきのこが生えています。きのこレストランにはどんなおきゃくさんがくるのかな？



「おおかみのおなかのなかで」

マック・バーネット/文 ジョン・クラッセン/絵
なががわ ちひろ/訳 (徳間書店)

ある朝、ねずみがおおかみに、ぱくっと食べられてしまいました。しかし、おおかみのおなかの中には先にあひるがいて、それは楽しく暮らしていたんです！2匹はお料理をしたりおどったり。そんなある日、おおかみが狩人にねらわれてしまいます。かいてきな生活を守るために、ねずみとあひるは、何をしたのでしょか？
ときどき、わくわく、楽しい絵本。



「よるのあいだに…」

みんなをささえるはたらく人たち
ポリー・フェイバー/文 ハリエット・ホプテイ/絵
中井 はるの/訳 (BL 出版)

みんながぐっすりねむっているあいだにも、しごとをしている人たちがいます。どんなしごとがあるでしょう？コンビニ、タクシーうんてんしゅ、けいさつかん…。いえいえ、もっとたくさんの人たちが、よるのあいだ、わたしたちのためにはたらいています。あさになってわたしたちがこまらないように。

さあ、ゆうびんうけからしんぶんをとったら、パンやさんに、やきたてのパンをかいにいきましょう！



「うつくしい絵」

かこ さとし/著 (偕成社)

ダ・ビンチがえがく「モナ・リザ」、ゴッホがえがいた「ひまわり」。絵は、なんとなくどこかで見たことはあるけれど…なにがすばらしいのか、描いた人はどんな人なのか知っていますか？

あなたの感じる「うつくしい」ってなんだろう？これを読んで家族で考えてみよう♪大人にもおすすめの1冊です。